

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和7年5月12日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 東京都府中市住吉町5-13-1 氏 名 キューピータマゴ(株) 府中工場 工場長 長谷川 勝 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 042 (361) 3991</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	キューピータマゴ株式会社 府中工場
事業場の所在地	東京都府中市住吉町5-13-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	23,000トン
③従業員数	350名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動植物性残渣⇒飼料化⇒飼料として養豚にて使用 動植物性残渣⇒焼却⇒サーマルリサイクル 廃プラスチック⇒破碎⇒焼却⇒サーマルリサイクル 下水汚泥⇒脱水⇒堆肥化 その他汚泥⇒サーマルリサイクル 蛍光灯⇒マテリアルリサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



- ・グループ社内による環境監査実施（廃棄物管理関係の審査あり）
- ・グループ社内産業廃棄物勉強会への参加（本社部門による開催 最低年1回は実施）
- ・産業廃棄物処理責任者：工場次長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	排出量	522.57 t	38.21 t
	(これまでに実施した取組) ・こぼさない、落とさない等による落下物回収による残渣汚泥削減 ・節水による排出量削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	排出量	568.99 t	41.60 t
	(今後実施する予定の取組) ・こぼさない、落とさない等による落下物回収による残渣汚泥削減の継続 ・稼働時間削減による節水		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・動植物性残渣、廃プラスチック類について一部、分別し有価として排出
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の分別を継続し、更に数量を増やして実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
排 出 量	211.35 t	- t	1,005.74 t	- t
(これまでに実施した取組) ・ 分別教育 ・ 歩留向上対策（動植物性残渣）⇒工程別発生調査による分析から改善へのアクション ・ 製品端数品のNPO法人への寄付 ・ 原料管理による不良発生量削減				
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
排 出 量	230.13 t	- t	1,095.09 t	0.20 t
(今後実施する予定の取組) ・ 動植物性残渣…定期的な発生状況分析による徹底した歩留り改善 原料産地との品位改善の取組を行い、歩留り改善 ・ 製品端数品のNPO法人への寄付の継続 ・ 廃プラスチック…プラ部品のステンレス化を行い、消耗品から発生する廃プラスチックを削減 工程確認、設備調整を行い資材ロスの削減				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
排 出 量	0.20 t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	522.57 t	38.21 t
	優良認定処理業者への処理委託量	172.15 t	38.21 t
	再生利用業者への処理委託量	522.57 t	21.75 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	16.46 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・処理場訪問（1回/年）実施による処理状況などの確認			

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	211.35 t	- t	1,005.74 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	993.88 t	- t
再生利用業者への処理委託量	4.08 t	- t	697.26 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	308.48 t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

- ・ 処理場訪問（1回/年）実施による処理状況などの確認

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類			
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	568.99 t	41.60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	187.44 t	41.60 t
	再生利用業者への処理委託量	568.99 t	23.68 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	17.92 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・こぼさない、落とさない等による落下物回収による残渣汚泥削減の継続 ・稼働時間削減による節水		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	230.13 t	- t	1,095.09 t	0.20 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	1,082.17 t	0.20 t
再生利用業者への処理委託量	4.44 t	- t	759.20 t	0.20 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	308.48 t	335.88 t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・動植物性残渣…定期的な発生状況分析による徹底した歩留り改善 原料産地との品位改善の取組を行い、歩留り改善 ・製品端数品のNPO法人への寄付の継続 ・廃プラスチック…プラ部品のステンレス化を行い、消耗品から発生する廃プラスチックを削減 工程確認、設備調整を行い資材ロスの削減				

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
全処理委託量	0.20 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	0.20 t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	0.20 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。